



川越

No. 902

平成9年1月10日

■ 新年にさいして ————— 2

■ 川越市からのお知らせ ————— 4

■ よみものコラム ————— 8

■ 表通り 裏通り 現代の名工 ————— 10

● 社協だよりが折り込まれています。

JR川越線荒川鉄橋

新春



新年にさいて

明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平成五年二月、一市民の立場から市長に就任し、市政運営に努力してまいりましたが、この間、市内外の皆様のご協力を頂きましたことについて、厚くお礼申し上げます。

私は、市政を身近なものに感じていただくという気持ちから、市民参加の対話の市政を実現するため目安箱を設置し、直接市民の皆様と対話する懇談会の開催を続け、また、市の機構改革の際に広聴課を設置して皆様の意見を集約するなどの努力を続けてまいりました。

市民の皆様のご協力により、市政懇談会、目安箱、広聴課へそれぞれにたくさんのご意見をいただき、市政の参考にしていきます。また、市民意識調査も行い、市民要望を的確に知ることができるよう、努めています。一方、市職員とも対話し、直接意見の交換を行い、市役所内部の活性化、市民サービスの向上に努力してまいりました。

不況の継続により、財政が苦しい立場に立っています。このようなときこそ知恵を出して市においても効率的運営を積極的に推進し、これを乗り切る努力をしています。この間、都市計画税の減税を実施し、今年度分の十三億円を含め、四年間で合計四十七億円ほどの減税を行いました。不況の中、市民の皆様の負担の減少を図り、減少分が消費につながれば、市内の景気回復の一助にもなると考え、今後も続けます。

高齢社会の到来による高齢者福祉を中心とした福祉を重視する社会に対応して、市では老人保健福祉計画を策定しましたが、本年はデイサービスE型施設

設および総合保健センターの建設に着手するほか、今後民間活力も取り入れた施設の整備、ご家庭で療養されている方に対する在宅介護の支援に力を入れ、すでに実施している二十四時間ホームヘルプサービスなどの推進を図っていきます。一方、障害者福祉についても充実を図ります。だれもが健康で長寿をまっとうできるよう、本年は市民の健康づくりを推進してまいります。それには皆様のご協力が欠かせません。

高齢社会を支える子どもが少なくなる少子化も社会問題になっています。将来を担う子どもが健康に育つための施策が必要です。今まで二回の乳幼児医療費無料化の拡大を図ってきました。また、私立幼稚園等の保護者負担の軽減を図り、保育も充実させるなどの施策が重要と考えています。

昨年十月から市民の皆様のご協力により、半透明ゴミ袋を導入しました。この結果、ゴミの分別が進み、先に行った資源ゴミ回収の補助額アップと相まってゴミ減量が進み、実施後二か月で前年比約千五百トンのゴミが減量できました。これによって今後、建設が予定されている新清掃センターの規模が縮小でき、費用が節約できることになりました。

要望の強い仮称葬祭会館の建設については、現在の斎場から車で十分程度の場所に葬儀、通夜、法事のほか仮眠宿泊ができ、三百台駐車可能な広い敷地と明るい建物、周囲に植樹した公園的な広場も兼ねたものを考えて、土地を取得することにしました。ご協力くださる地主の皆様にご感謝しています。

懸案の川越商業高等学校の校舎改築が完了します。現在、商業高等学校については、時代に合致した学科の再編、内容の整備と、さらに将来を見据えた大学等の設置を検討するチームを市役所内に編成し、

研究しています。

市民サービス向上の施策として実施した市内循環バスの川越シャトルは、昨年中に東西南北の四コースを運行しました。身近な交通手段としてご利用ください。また、昨年十一月下旬から印鑑証明と住民票の写しの自動交付機を市役所入り口と川越駅のアトレ一階南連絡所に設置しました。市役所の業務時間以外にも、平日の午後七時までと土曜日の午前八時三十分から午後五時まで利用できます。

阪神淡路大震災以来、災害に強いまちづくりが課題となっています。被害状況の把握、対策に役立てるため、ヘリコプター会社二社と災害時の優先利用の契約を結びました。災害時では電気、電話、水道、ガス、道路の途絶の中でいかに効率的に救助活動ができるかが重要です。市民の皆様にも地域防災体制をつくっていただき、連携をお願いします。災害時の設備としては、災害用給水井戸および備蓄庫の増設、余裕教室を活用した救急品その他の品物の備蓄などの充実を図ります。配付しました防災セットもご家族でご利用ください。

地方分権特例制度、いわゆるパイロット自治体制度を活用し、全国に先駆けて小学校の余裕教室を利用して老人憩いの家やデイサービスセンターを造りました。お年寄り子どもたちがいっしょにいろいろな話ができ、学校教室の転用はたいへんいい結果が出ています。

川越は今、たくさんの観光客が訪れています。そこで川越のイメージアップをする必要があります。川越の繁栄につなげないといけないと思います。一番街、時の鐘通りの電線地中化のほか、現在、サンロード、新富町通り等の地中化を手がけ、交通の円滑化、商店街の繁栄を図っています。さらに観光拠点として山車を常時展示する仮称お祭り会館を建設します。

川越市全体に経済的波及効果のあるような観光政策が必要で、川越の歴史・伝統を生かした商業、工業、農業等産業の活性化に取り組み、豊かな川越をつくる必要があります。

今後、市民の皆様と市がいっしょになり、効率的政策の樹立、実現のため、お互いに話し合い協議する場が必要です。ちょうど昨年から第二次川越市総合計画がスタートし、二十一世紀の躍進する川越へ向けて走り出しています。市役所と市民が真に一体となり、川越市の発展を考えるべき時がきています。第二次川越市総合計画の実施と合わせて「スマイルシティ・川越」という標語を採用し、ロゴマークも作り、川越のイメージアップを図っています。いつもニコニコして家庭でも職場でも和気あいあいの住みよい川越をつくる運動にご協力をお願いします。

全国的に話題となった川越市の施設の一パーセント節電運動については、昨年四月から十月まで前年比で電力消費量が三・五パーセント減、電気代は値下がりも含めて三千六百四十万円の減額となりました。増加する電力消費量を節電によって補い、時間的にも経済的にも余裕をつくり、安全なエネルギーを、そして安全な発電施設を造ってもらおうとし、原発問題を考慮して始めたものです。市民の皆様様の税金で支払う電気代の節約は、何よりも行政改革に通じます。

昨日より今日、今日より明日が住んでよかったと実感を持てる川越を作ることが必要です。道路、交通問題、下水排水等、私たちを取り巻く環境の整備も重要です。私は、市政運営の視座として「福祉充実、住みよい環境、歴史を生かした（産業の）活性化」を考え、さらに努力を続けます。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。



川越市長 舟橋功一

償却資産の申告・給与支払報告書は1月31日までに

商店や工場などを経営している方は、償却資産の申告をお願いします。所得税を源泉徴収している事業主は、給与支払報告書の提出をお願いします。

償却資産の申告

個人や法人で、商店や工場などを経営している方は、平成九年度の償却資産の申告をお願いします。償却資産とは、事業のために用いる機械、器具、備品などの事業用資産（土地、家屋、借入資産を除く）のことで、固定資産税の対象となるものです。このような資産をお持ちの方は、毎年一月一日現在の所有状況について、その種

給与支払報告書

給与の支払時に所得税を源泉徴収している事業主は、給与支払報告書を提出することになっています。提出：1月31日（金）までに市税課内線23351

報告書には、昨年一年間に支払った「給与」「賞与」など、すべての給与を記入してください。提出は、従業員の方が平成九年一月一日現在に住んでいたそれぞれの市区町村長あてです。なお、昨年中に中途退職された方についても同様に提出をお願いします。事業所で支払われる給与所得のほかに所得がない従業員の方は、この報告書が事業所から提出されたことにより、市県民税の申告を済ませたことになります。提出：1月31日（金）までに市税課内線23351

入札参加業者の登録を受け付けます

平成九年度・同十年度に市が発注する物品購入や製造、建設工事等の入札参加業者の登録を受け付けます。

提出書類は、契約課で配付しています。

受付日時：2月10日（月）～28日（金）
午前9時～11時30分・午後1時～4時

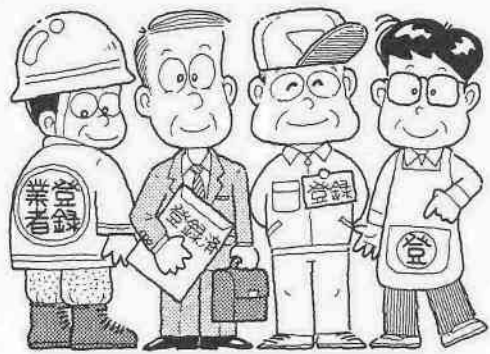
会場：市役所三階3A会議室
*建設工事等の審査基準日は、平成八年度までは十月一日直前の営業年度の終了日（決算日）として

いきましたが、同九年度からは八月一日直前の営業年度の終了日（決算日）に変更となりました。

特に、八月および九月に決算の方はご注意ください。

*建設工事について登録をしようとする場合は、平成八年八月一日直前の営業年度の終了日（決算日）を審査基準日とする経営事項審査結果通知書が必要となります。

問い合わせ：契約課工事契約係内線2261



集団回収にご協力、ありがとうございました

ごみのリサイクルは、私たちひとりひとりの生活とかわりの深い問題です。

市では、ごみリサイクルを推進するため、団体の集団回収活動を「集団回収報償金制度」により支援、昨年度から活動の奨励・活性化を目的として優良団体を表彰しています。

また、ごみと生活とのかかわりについて対話の機会を持つ「ゴミユニケーション（出前説明）」を実施。ごみの分け方、出し方などをお知らせして、意識の高揚を図っています。出前説明については、左記までお尋ねください。

問い合わせ：資源対策課資源対策係内線2623



表彰を受けた優良団体

こんなに集まりました

市民の皆さんのご協力により行われた、平成八年度上半期（四月～九月）の集団回収の結果は、次のとおりです。

回収された紙類の四千三百三十二トン、リサイクルすると、直径十センチメートル・高さ八メートルの立ち木、およそ八万二千本が保護されることになります。

報償金は三十五万円

市では、回収量一キログラム当たり七円の報償金を団体に交付しています。今後も市民の皆さんの集団回収へのなおいっそうのご協力をお願いします。

実施した二百九十二団体の収入合計は、報償金三十五万円と団体売上金七百五十五万円を合わせた三千八百五万円となりました。一団体当たりの平均収益金は約十三万円です。

優良団体の表彰をしました

十二月十八日に行われた表彰式では、優良団体に選ばれた八団体に舟橋功一市長から賞状と記念品が贈られました。

優良団体は新宿町五丁目子供育成会、神明町子供会育成会、新宿町三丁目子供会育成会、石原町二丁目子供会育成会、三久保町育成会、霞ヶ関小PTA、月吉町自治会、デイケアいもの子です。

回収量	
紙類	4,132t
紙パック	31t
布類	111t
びん類	66t
金属類	18t
合計	4,358t
実施団体数	
子供会	171(217)
PTA	41(48)
自治会	27(44)
その他	53(95)
合計	292(404)
()内は登録団体数	

舟橋市長は表彰式で「集団回収は、ごみの減量・資源化に大切な活動です。市としても積極的に推進して行きます。地域の皆さんには今後も引き続き、集団回収に頑張ってくださいようお願いいたします」と話していました。

表彰団体の方々へ活動状況を尋ねたところ「長年続いていて、協力体制がしっかりしている」「集団回収のことを理解してくれている人が多い」などの話を伺うことができました。こうした団体の共通点は、住んでいる皆さんにしっかりと協力体制ができていることでした。

集団回収は、ごみの減量化に大きな効果があります。最近では地域の交流も変わり、活動の継続が難しい状況もあるようです。しかし、ごみの減量化・資源化にとって最も有効な方法の一つであることは確かです。今後も各団体が力を合わせて活動を推進されるよう、お願いします。

環境いざねこころをねんむす

環境保全課管理係内線2611

星に願いを

スターウォッチング・ネットワーク

★スターウォッチング

最近、星空を見ましたか。環境庁では、星空観察という身近な方法で大気汚染や光害などの環境問題を考えるため、全国星空継続観察（スターウォッチング・ネットワーク）を年二回（夏期・冬期）実施しています。平成七年度には、全国で延べ七百二十団体、一万四千四百四十一人が参加しました。

光害＝人工光により夜空の明るさが増し、星が見えにくくなる現象

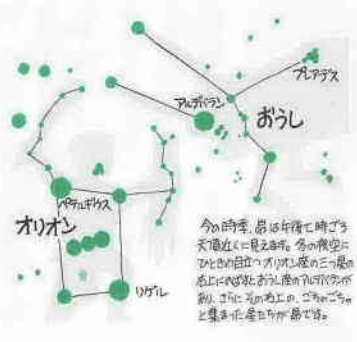
★川越市星空観察の集い

市でも平成五年度からその趣旨にのっとり「川越市星空観察の集い」を実施しています。これまで七回行われ、参加者も回を重ねるごとに多くなり「川越でも意外と星が多く見られるんだ」と星空を楽しんでいます。

市内小・中学校の先生数人を講師に迎え、星の探し方、双眼鏡の使い方、星座にまつわる神話などについて学習し、その後フィルム上映と星空観察を行っています。

★星を楽しむために

現在では、ネオンや街灯などにより、星が非常に見えにくくなっています。星をより楽しむためにも、必要以上の明かりは消すようにしたいものです。



第八回川越市星空観察の集い
すばる（プレアデス星団）周辺の観察を左記のとおり、実施します。
日時：2月1日（土）、午後5時30分～
会場：農業ふれあいセンター
対象：市内在住または在勤の小・中学生以上（小学生は保護者同伴）
経費：二百円
申し込み：環境保全課または各公民館

母やんの苦悩

同和教育シリーズ
人間の誇りうるとき 27
差別とは

「貧乏人の子だくさん」ということばがあります。私は、八人兄弟の八番目で、母やんが四十五歳のときの子です。だから私が母やんに、「チョウリってどういうことだ」とと激しく責めたてているときは、母やんの歳は五十四、五でした。五十を過ぎたという大人の母やんが、十歳になるかならない子どもから「チョウリ」の質問をされて立往生してしまふんです。あのときの母やんの悲痛な顔、今も私のまぶたの奥にあります。あのときの母やんは、私の体を痛いほど抱き締め、二つの目からあふれるように大粒の涙をボタボタと落としていたんです。もうそれからはことばになりました。六十二歳の人生で、母やんが一番つらかったときだと思います。一番悔しかったときだと思います。

親というのは、どんな親でもわが子のためならば犠牲になれます。これが、親の子に対する愛情です。犠牲ということは、場合によっては命をかけることさえできるということです。だから親は粗末にできないんです。格別な親は粗末にしてはならないと思います。皆さんのことを（つづく）

第二次川越市総合計画シリーズ ② 未来に萌える歴史のまち



企画課総合計画担当 内線2311

第2章 教育・文化・スポーツ

個性を生かす教育と地域の伝統を受け継ぎ、新しい文化を創造するまち

◆生涯学習を推進する体制づくり

市民の学習を援助していくため学習機会等に対する情報の一元化、ネットワークの整備等総合的に支援できる体制づくりを推進します。

主な施策

- 生涯学習情報推進体制の充実
- 生涯学習関連施設の整備・充実
- 生涯学習基本構想・基本計画の策定

◆個性を生かす学校教育の充実

自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成に努めるとともに、基礎的、基本的な内容の指導、個性を生かす教育の充実に努めます。

主な施策

- 学校施設の充実
- 教育内容・教育方法の充実
- 小学校大規模改造工事
- 学校施設の緑化推進事業
- 情操教育推進事業

◆地域に育まれた伝統文化の継承、市民文化の創造

市民と行政が協働で文化活動を推進していくため、文化振興構想と計画の策定を進めます。伝統文化と新しい文化の融合など、文化に対する学習機会や活動を支援しながら、個性ある文化都市づくりを推進します。

化都市づくりを推進します。

主な施策

- 文化施設の整備・充実
- 文化財の保存と活用

主な事業

- *文化施設の建設整備事業
- *河越館跡整備事業

◆国際性のある人づくり、まちづくり

外国の異なった文化を日本文化との対比のなかで理解し、行動できる能力を身につけるため、国際理解教育や外国語学習の機会の充実を図ります。

主な施策

- 国際交流、国際協力の推進

主な事業

- *姉妹・友好都市交流

※第二次川越市総合計画シリーズの表記は、同計画の冊子に基づいています。

防災シリーズ 災害から身を守るために 21

総務課防災係 内線2217

1月17日は「災害とボランティアの日」です。

兵庫県南部地震発生直後から、大勢のボランティアが被災地に駆けつけ、炊き出し、物資の仕分け・運搬などさまざまな分野で活躍しました。

政府は、国民が災害時におけるボランティア活動および自主的な防災活動についての認識を深め、災害への対策強化を図ることを目的として、1月17日を「災害とボランティアの日」、1月15日から21日までを「災害とボランティア週間」と定めました。

川越市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、川越地区消防組合の協力により、災害ボランティア養成講座を実施しました。講座には、10歳代から60歳代までの幅広い年齢層の人、男女、ほぼ半数ずつ、合計27人が参加しました。

阪神・淡路大震災の教訓を生かした研修の内容は、ガレキの下敷きになった人の救助や簡易搬送、消火、救急などを体験実習するとともに、被災者に対する心のケアについても学ぶ幅広いものでした。

講座を企画・運営したボランティアセンターでは「今後もこの講座を続け、多くの市民に参加を呼びかけていきたい」と語っていました。

災害ボランティア講座については、川越市社会福祉協議会(☎25-5703)にお尋ねください。

埼玉県では、ボランティアの登録制度を設けています。詳しくは、埼玉県環境部地震対策課(☎048-830-3173)にお尋ねください。

防火講演会 川越地区消防組合・川越地区危険物安全協会共催

昨年11月14日、神戸市消防局救助隊長の岡田幸宏さんを招いて西文化会館で防火講演会が行われました。

「そのとき、消防隊員の胸に去来したものは……」という講演は、死と隣り合わせの救助活動、被災地の生々しい人間ドラマ、安全な都市づくりなどについての体験を元にしたものでした。崩れた建物の下で家族をかばうように重なり合っている現場では、人間の非力さと自然の猛威を感じたそうです。

「自分の家族はどうなっているだろう」と心配しながらも使命感にかられ、市民といっしょになって不眠不休で続けた救助活動。全国の消防組織が心を1つにしたにもかかわらず、犠牲になった尊い人命に心を傷める様子がうかがえました。

被災した市民に報いるためにも、災害を教訓にして市民、事業所、行政が一体となって安全な都市をつくるのが使命であるという岡田さん。満員の会場で熱心に聞き入る参加者からは「備えることの大切さを再認識しました」という感想が聞かれました。

「神戸を忘れてはいけない。私たちは何を感じ、何を学ばなければならないか」。その回答は、ひとりひとりが自分で考えることから始まります。

Your health

健康アドバイス

知ってますか?

母子健康手帳



母子健康手帳は、一般には母子手帳と呼ばれ、妊娠届けをしたときにももらいます。

母子健康手帳は、昭和十七年に創設された「妊婦手帳」に始まりました。生まれる前からの健康の記録を継続的につついていく考

方は、世界的にも高く評価されています。

また、生涯の健康の基礎となる時期をどう過ごしたらいいかを学ぶ資料にもなります。

あなたの母子健康手帳もあるかもしれません。両親に尋ねてみてはいかがですか。

母子手帳をめくってみると、妊娠中、生まれたとき、そして就学前までの成長や予防接種の記録などたくさんの出来事がつづられています。親から子どもに伝える何よりの財産となることでしょう。

これから母子健康手帳をもらう方として、成長を夢見て大切に、そして楽しく使ってください。

◇母子健康手帳の交付

妊娠の診断を受けたら、早めに母子健康手帳の交付(妊婦一人に一冊)を受けましょう。交付と同時に、妊娠中に必要な検査の一部が公費負担で受けられる受診券もお渡ししています。

双子の場合や紛失された場合は、その旨を申し出れば追加、再交付が受けられます。

母子健康手帳は母と子の大事な記録。母のものであると同時にお子さんのものでもあります。大切に保管しましょう。

交付窓口：市民課、各出張所・連絡所、本川越駅証明センター

問い合わせ：保健センター ☎24-8611

消費生活レポート 31

おもちゃの事故が増えています

～誤飲、切り傷、目の障害など～

事例1 2歳の男児がプラスチック製のがん具を口の中に入れ、のどに詰まらせた。親が苦心してがん具を取り除いたが、救急車が来たときは仮死状態だった。

事例2 3歳の男児がコマで遊んでいて、先のとがった部分が左のほおに刺さってけがをした。

事例3 同級生の友人が撃ったがん具銃の弾が11歳の男子の目に当たり、けがをしてしまった。がん具にはSTマークが付いていて対象年齢は「8歳以上」となっていた。

事例4 対象年齢が小学生以上のせっけんを作るがん具で子どもが遊んでいたが、隣家の5歳の男児が遊びに来ててしまい、口の中がただれてしまった。

消費者へのアドバイス

がん具の安全性については、(株)日本玩具協会が定めた自主基準(ST基準)があり、基準に合格した商品には「STマーク」が付けられます。STマーク付きのがん具の欠陥が原因で事故が起きた場合は、被害者救済制度があり、対人1人最高1億円、事故1件2億円、対物2,000万円の範囲内で保障され、また30万円までの見舞い金が支払われます。

- (1) がん具は、安全性を第一に考えて選ぶ必要があります。STマーク、ASGKマークが付いているか確認してください。
- (2) 子どもにがん具を与えるときは、取扱説明書をよく読み注意事項をよく言い聞かせるようにしてください。
- (3) 子どもががん具で遊んでいるときは、常に注意が必要です。特に兄弟で遊ぶ場合、年下の子が年上の子向けのがん具で遊んでいるときは気をつけましょう。

生活情報センターでは、商品や契約などについての相談を受けています。

生活情報センター ☎26-7476

相談日…月・水・木・金曜日、午前10時30分～午後4時30分

それは、税

They are 税 TAX

サラリーマンで、副収入がある場合の申告は?

Q 私は、サラリーマンですが、仕事のかたわら雑誌の原稿を書き、その所得が一年に十万円ほどになります。所得税の確定申告は、二十万円以下であれば不要と聞いていますが、住民税の申告は必要があるのでしょうか。

A 所得税は、納税者の方がみずから税額を算出し、三月十五日までに確定申告するものです。しかし、所得が発生した時点で源泉徴収を行っていることなどの理由から、給与所得以外の所得が二十万円以下の場合には、確定申告は不要とされています。

これに対して、住民税にはこのような源泉徴収制度はなく、他の所得と合算して税額を計算することになります。したがって給与所得以外の所得(原稿料、配当、家賃など)がある場合には、二十万円以下で確定申告が不要であっても、住民税の申告は必要です。

問い合わせ：市民税課市民税第一係 内線23333

先人のあゆみ 31

五代將軍綱吉の時代、老中として幕府の難局を処理し、元禄期の良宰相といわれた秋元喬知。凶作や水害が続く、川越藩の領内が動揺していたときに藩主となり、養蚕の奨励や絹織物の生産指導など殖産興業に力を注ぎました。

●秋元但馬守喬知は、慶安二年（一六四九）に戸田忠昌の子として生まれ、幼名は甚九郎、始めは喬朝と称し、宝永五年（一七〇八）から朝の一字を知と改めました。喬知は、秋元富朝の外孫で養嗣子となり、万治元年（一六五八）甲州谷村一万八千石を継承。宝永元年（一七〇四）、柳沢吉保が川越から甲斐甲府に移り、代わって喬知が五万石をもって川越の藩主となりました。

生まれつき温厚清廉な喬知は、為政者として規則・礼法などこまごまとした煩わしいことを嫌い、形式化を避け、常に道徳的な反省に立って庶民に臨むことに努力しました。みずから諸事儉約、文武の修行を実践し、殖産興業に力を注いだ人物です。

喬知は元禄十二年（一六九九）から宝永四年（一七〇七）の間、將軍綱吉治世の後半に老中に任じ

殖産興業に力を尽くす
秋元喬知（一六四九〜一七一四）

られ、幕政の重要な政務に加わり、難局を処理したことから元禄期の良宰相といわれました。

元禄期は平和が継続した時代で、武人は遊惰な生活に慣れ、町人百姓も平和を当然と考える風潮が支配していました。下級武士や町人の間から盛り上がりつつあった新しい文化が芽生え、都市の消費生活が向上し豪華華麗な社会が展開されました。また、国の経済力が伸び、農業生産力も増加、商業経済も大きく飛躍しました。太平に伴いぜいたくが増えるにしたがって消費水準は急速に上昇し、消費の中心地として都市が発展しました。

元禄期は社会風習の退廃が著しく、武士は立身出世、町人は金もうけに、そして双方ともが色情の世界にわれを忘れて陶酔しているかのような時代でした。幕府は財政の窮乏を打開するため、元禄十年（一六九七）に貨幣鑄造を行いました。このため貨幣価値が低下し物価が上昇して、庶民の生活を苦境に陥れました。さらに農民たちからは天災凶作による減収と商業資本の農民経済の圧迫による反発が激しくなっていました。このような情勢下で各藩とも困難な藩財政を建て直すため、各種産業

を興し伸展させる殖産興業策がとられました。

喬知も藩財政の窮乏を処理するため、家臣に対して儉約令や半知借り上げ（家臣の俸禄を削減すること）を達するとともに、学問の奨励、土風の刷新、貧困家臣団の救済、殖産の振興、農政の改革などを示し、みずからも生活はきわめて質素で粗衣粗食に甘んじて藩財政の安定に努力しました。

喬知は宝永元年甲州谷村から川越に転封のとき、絹織物の熟練工を川越に移り住ませ、「川越斜子」、袴地としての「川越絹平」を織らせました。特に世に知られるのが絹平で、領内農家の副業として生産され、江戸などに搬出し、川越藩の特産物の一つになりました。

また、養蚕飼育の改良や甲州柿の栽培指導なども奨励指導する農業政策をとりました。

喬知は正徳元年（一七一）には一万石加増となって六万石を受領しました。その後も秋元家は喬房・喬求・涼朝と続き、四代六十年間川越藩主を務めました。

いきいきシルバーク 47

いっしょに楽しみませんか憩いの家

子どもたちの明るい声が絶えない高階北小学校に、いきいきとした高齢者の姿があります。昨年春にオープンした「高階北老人憩いの家」は、高齢者のレクリエーションと心身の健康増進を目的に、小学校の余裕教室を改造したものです。

「最近では、利用者が徐々に増えてます。憩いの家をきつかけに社交ダンスや踊りのグループもできたんですよ」と、管理をしているシルバーク人材センターの飯塚亮三さん（61歳・寺尾）が教えてくれました。

和室で将棋を楽しむ岸田棟通さん（62歳・新宿町四）は「将棋相手が増え、うれしいよ」と週に三日ほど訪れます。月に一度、小学校の将棋部との対戦が楽しみのようです。教養娯楽室を利用する民謡サークルの千葉房子さん（60歳・砂新田四）は「ときどき校庭で遊んでいる子どもたちがのぞきこんだり、いっしょに歌ったりするんです」と話してくれました。

老人憩いの家は、市内に住む六十歳以上の方ならどなたでも自由にご利用できます。川越シヤトル（南コース）の「砂新田一丁目」が最寄りのバス停です。開館日時：毎週月・土曜日（祝日を除く）、午前9時〜午後4時30分

問い合わせ：高齢福祉課いきがい係 ☎内線2541



高階北老人憩いの家 ☎48-6565

みんなの作文



楽しかった仲良し集会
大東東小学校四年
岩田裕美恵

仲良し集会の後半が竹馬に決まったとき、うれしかった。前から一度、竹馬に乗ってみたかったけど、作り方も知らないから、あとは、仲良し集会だのみだった。用意する物は、前半の竹とんぼだけで、竹馬にはなかった。

仲良し集会の当日、十一月二十二日、二、三時間目を使って、仲良し集会は開かれた。

前半の竹とんぼは、関野さんのおじいちゃんが、教えてくれた。後半の五分前になるとくつをはいて外に出た。いよいよ竹馬。

自分の長さに合った竹馬を選ぶ。実さいには、竹馬は少なく、鉄でできた「鉄馬」が多かった。だからほとんどの人が鉄馬に乗っていた。竹馬と同じはんの古牧君は作ってもらった。

私は鉄馬に乗った。右足を乗せて、左足を乗せる。しんちように、しんちように……。

なんとかバランスはとれた。わたしはホッとした。

バランスをとる所まではかん

おしゃべり倶楽部 94 気楽木 ナンテン



ナンテンはメギ科ナンテン属の常緑低木。中国原産で、名は漢名の南天燭、南天竹の略です。「難転」になぞらえ、「難を福に転じる」として、多くは庭木に用いられます。魔よけに門前や玄関前、屋敷の鬼門などに植えたり、悪い夢を見ないように布団の下に葉を敷いたり、赤飯に葉を添えたり、いろいろなところで見かけるこの樹木は、昔から私たちの生活に身近な縁起木です。また、実や葉などに各種のアルカロイドが含まれ、薬用効果もあるといわれます。写真は公園管理事務所（郭町2）の前にあるナンテン。1メートルほどの小さな木にポツポツとついた赤い実が、飾りのようで印象的でした。

短歌

平成八年市民文化祭短歌大会入選作品より

- 田に引きし水は音立てて耕運機の深きわだちに流れ込みたり
汗ばみて目ざめし部屋に思ひ立ち妹にあて手紙かきをり
高齢化社会を論じいるラジオ老いを責めらるごとく聞きおり
大いなる夕焼けの中落葉松の幾千の針きらめきて散る
彷徨へる老人探す放送を聞きつつ日暮るる畑に働く
産み月も梅雨に濡れつつ田植えせし遠き日思い休耕田に佇つ
亡き母がわが名記せし物差しが和筆筒の中に蔵われてあり
いつまでも見送っている母を背に感じつつ夜の巷歩み来
明日こそはなさねばならぬ事思い寝苦しき床に寝返りを打つ
「大地の子」よみつつあれば胸熱し彼の地に逝きし亜起子は二歳
暑き陽のしずみて田水見廻れば稲の葉先に玉露光る
颯爽と遊び歩きし若き日を八十路を越えて尚忘れ得ず
還暦を迎へし時の感情の起伏はいづこ古稀の静けさ
悲しみの極みにあれば泣けぬこと思ひ知らされし夫逝きし夜
ふる里に大型台風上陸と聞けば一人居の母が気になる
嫁ぎきて吾は五十年庭の梅は八十年ぞともに老いたり
朝六時しじまを破る鐘の音は今日一日の吾をはげます
永生きも芸のうちよと屈託のなき姑がいて家内明るし
- 霞ヶ関北三 馬淵淑子
西小仙波町一 北村緑
霞ヶ関東五 渋谷光三
西小仙波町一 吉村しづえ
岸町二 井上文子
笠幡 嶋田千代子
元町一 宮崎美与子
砂新田 飯野喜代子
久保町 田中操
下広谷 久保田篤子
北田島 栗原節子
古谷上 鈴木わか
霞ヶ関東四 丸川敏子
今泉 高野典子
霞ヶ関北三 今西節子
北田島 西川静子
通町 坪井邑子
大仙波 山本和多留

もしもしコーナー 93

？ あらだ

Q 贈答品などの空き箱や紙袋がたまってしまう。紙ごみとして出したほうがいいのか？

A 毎月一回の紙ごみの収集日に決められた集積所に出すか、地域の集団回収をご利用ください。回収する紙類は①新聞紙②段ボール③牛乳などの紙パック④書籍・雑誌・紙袋・空き箱など。この四品目ごとにまとめ、袋などには入れずに、ひもで十文字に縛って出してください。箱はつぶしてからひとまとめに、化粧品や歯磨き粉などの小さな箱は、ばらばらにならないように、大きな箱といっしょにするなど、くふうをお願いします。紙袋は、畳んで束ね、ひもで縛ってください。持つところがビニールの場合はその部分を外します。台所のごみなどといっしょにしたり、焼却したりしているものの中に「資源」が……もう一度、見直してみてもいいかがでしょうか。

問い合わせ：資源対策課資源対策係 ☎内線2541

伝統の技を伝える

現代の名工

昨年十一月、卓越した技能を持ち、他の模範となる人を労働大臣が表彰する「現代の名工」に表具師・安藤和一さん（66歳・連雀町）が選ばれました。「古美術品を生かすために、最もよい方法を選んで修復するのが腕の見せどころ」と言う安藤さん。確かな技に支えられた自信とバイタリティーあふれる昔かたぎの職人さんです。その技術と心意気を伺いました。



美術品に命を吹き込む

今では珍しい木枠のガラス戸を開けて中に入ると、年代ものの書や仏画、水墨画の掛け軸や額が目に飛び込んできます。ここが安藤さんの仕事場。はてんを羽織る安藤さんは、すすの汚れや虫食いの跡が残る古い掛け軸の画をへらを使って、一枚一枚根気よくいねいにはがしています。

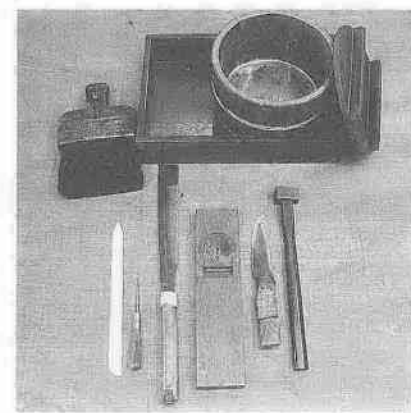
表具師とは、「本紙」と呼ばれる書画が描かれた紙や布地を他の紙や布地にはり、巻物や掛け軸、屏風、襖などに仕立てる表装をする職人のこと。江戸末期から数えて五代目の安藤さんは、特に古書画を修復する技能に優れています。中でも「文字の引越し」や「三枚折り屏風」の技術は、この道五十年間で身につけたみごとな技です。

「文字の引越し」は、傷みの激しい本紙から文字だけを移す技術。文字の上のりを塗って薄紙を置き、紙の上から指で文字をたたきます。次に裏返して本紙をはがし、薄紙に移った文字にのりを塗り、その上に画仙紙を置き、ハケでいねいにたたいて一晩乾かします。翌日、乾いた薄紙側から文字の部分に水を付け、薄紙をはがします。ここが経験や勘を発揮するところです。

「三枚折り屏風」は、古すぎて掛け軸として巻きに耐えないものを保存のため屏風に仕上げたものです。

鑑定眼を鍛える

十八歳で東京の赤坂や新宿に出て親方に師事。九年間、腕を磨きました。「東京での修業時代は仕事を教わるというよりは盗んで覚えて育てられました」と振り返る安藤さん。経験に裏打ちされたその目の確かさは、使



長く使い込まれたへらやカンナ、ハケなどは自分の手と同じ。

っている紙や絵の具の色で作品の年代を見極め、筆のタッチや画風で作者とその制作年代までわかるだけでなく、本物と偽物を見分けます。

今まで手がけた古美術品の数は五百点以上。しかし「自分の作品の出来栄に満足していません。生涯勉強」と作品を見る厳しいまなざしがありました。

美術品を見る目を養うため、今も上野の国立博物館に通います。経験を積むことに鍛えられた安藤さんの大きな目が印象的です。

次代に引き継ぐ

安藤さんは現在、家業を長男に任せて三人の弟子を育てています。今まで十人の職人が一本立ちしています。また、県立中央高等学校美術専門校で週二回、生徒にインテリア関係と建築史等の一般教養を教えています。職人としてのプライドと気概を持つように教えているそうです。

「私たちの先輩が美術品を保存してきました。これからは次代を担う人に伝えなければなりません。体が続くかぎり続けていきます」と話す表情からは、伝統の技を引き継ぐという心意気を感じられました。

はーとふる

全国作文コンクールで特選

「社会福祉とは何だろう？」



「賞をもらえたと聞いたとき、うれしくてたまりませんでした」と喜びを話す関根篤史君（大塚小六年）。第四十六回全国小・中学校作文コンクール（読売新聞社主催・文部省ほか後援）で、関根君の作文「社会福祉とは何だろう？」が特選・読売新聞社賞に輝き、十二月七日に表彰されました。作文には、学校で習った車いすの押し方や手話などをきっかけに考えた福祉のこと、老人ホームでオムツを畳んだり、お年寄りや将棋や輪投げをしたりしたボランティア活動のことなどを書きました。体験を通して学んだ「思いやり」や「優しさ」の大切さがつづられています。

まちのできごと トーク 109パレット

川越市の面積は109.16km²

愉快なかかしの歓迎

北山田地区の農家の人たちが作ったユニークなかかしが迎えた「農業ふれあいセンターまつり'96」が、12月1日に開催されました。「野菜づくりは人の輪づくり」と題した講演会とミニフォークコンサート、野菜の収穫体験、手作りみその展示と試食などが行われ、およそ7千人が訪れた会場はたいへんにぎわっていました。



野菜(里芋)の収穫体験

自慢のロケットが飛ぶ

12月8日、日本ペットボトルクラフト協会埼玉川越支部主催の「ペットボトルロケット・第1回関東ブロック大会」が入間大橋緑地で開かれました。ペットボトルを使って製作した水噴射ロケットで飛距離やデザインを競うもの。118チームが挑んだ飛距離競技では166.84mの新記録が飛び出し、大きな歓声が上がっていました。



先人の生活をしのぶ

12月14日、市教育委員会が昨年春から発掘調査している元町2丁目遺跡(約330m²)で現地説明会が行われました。火災を示す焼けた地層や井戸跡、木樋跡、土蔵跡など戦国時代から近代に至るまでの遺構群。えびす人形、陶磁器のほか当時の物流を知るうえで貴重な荷札などの展示もあり、見学者は熱心に見入っていました。



32年ぶりの戦場ヶ原

高橋洋子 (53歳・熊野町)

「戦場ヶ原をもう一度歩いてみたい」。昭和39年8月、高校のクラスメートと歩いた戦場ヶ原。あの時の友人を誘いたいけれど、今、彼女は寝たきりの親といっしょの生活で外出は無理。だれかいっしょに行ける人はいないかしら、と思いつつ1か月ほどたったある日、友人から電話がありました。「数日間、母親を見ていただけることになったので会いませんか」と。それから、すぐ日光行きが決まりました。

リュックをしょって男体山を左側に見ながら戦場ヶ原を「こんにちは」と声を掛け合っている私は、32年前の私に戻った気分でした。とうとうと流れる清い川を目の前にしたときは、思わず「モルダウ」の歌を口ずさんでしまいました。

響き渡るセミの声や川のせせらぎの音、肌に気持ちいい風、すべてが私たちを自然の懷に包んでくれました。そして、友も私も翌日から新鮮な気持ちで生活できたことが、もう1つの喜びでした。

イラストコーナー

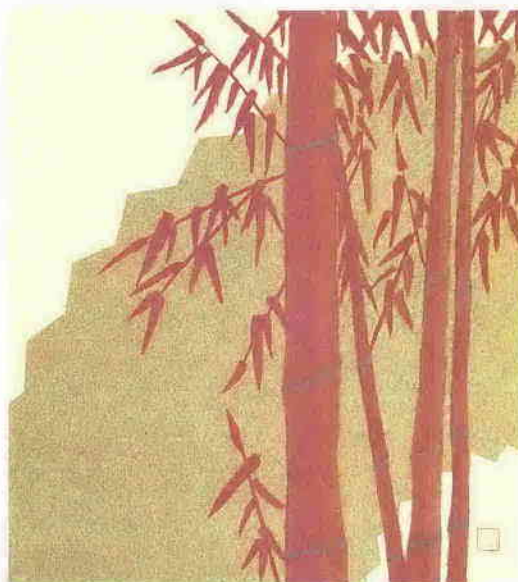


沖本綾希子 (10歳・吉田新町二)

和紙にたくして 34

朱竹

文 はり絵
新井紀子
新井時子



ボランティアとして

発展途上国へ出かける友人は、
毎年、違う場所で新年を迎えます。

今年はこの国の人たちといっしょに
過ごしているのでしょうか。

「大志」という名前のおり

自分の生き方を追いかける信念は、
私の希望につながっています。

異国で活躍する友人を通して、
厳しい暮らしを強いられる人々、

それを支える温かい心を知ることがあります。
燃える思いは、

ひとつひとつの節を超えて

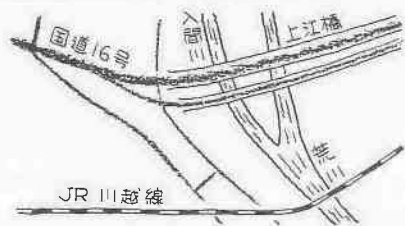
新しい目標に向かっていくのです。



編集日記

明けましておめでとうございます。昔から「一年の計は元旦にあり」と言われています。私たちは新年を迎えるたびにこのような気持ちで、それぞれの夢を抱き目標を掲げますが、年の暮れになると「今年もかなわなかった」と悔いを残すこともあります。今年こそ、そのようなことがないように心を新たにして、今日よりも明日、明日よりもあさつと、1歩でも前進したいもの
▶昨年、おかげをもちまして広報川越は900号を迎えることができました。さらに1000号を目指してよりよい、親しまれる広報紙となるよう職員全員が全力を尽くします。今年も、ご意見ご感想をお待ちしています。

表紙の写真 (JR川越線荒川鉄橋)



TV

わが街川越 番組ガイド

- テレビ埼玉 月曜日 午後10時15分～10時25分
火曜日 午後5時30分～5時40分
- 川越ケーブルテレビ 月～日曜日 午前10時～10時10分
午後4時～4時10分
午後7時～7時10分
午前0時～0時10分

■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。



川越の伝説から

テレビ埼玉(38ch)

1.13(月)・14(火)	新春に語る'97
1.20(月)・21(火)	川越の伝説
1.27(月)・28(火)	川越の伝説

川越ケーブルテレビ(15ch)

～1.14(火)	新春に語る'97
1.15(水)～	川越の伝説
1.27(月)～	川越の伝説

新春に語る'97

川越市では近年、都市機能の充実が図られ、生活環境の整備も進み、恵まれた自然環境と歴史遺産を生かしたまちづくりが進められています。新しい年を迎え、舟橋功一市長が抱負などを語ります。

川越の伝説

川越に残る数多くの伝説。それらをまとめた『続・川越の伝説』(川越市教育委員会刊行)から、上野田町に伝わる「お茶かんぼう」と笠幡の「こんびらさまのてんぐ」をアニメーションで紹介します。

川越1996

平成8年を振り返り、1年間の川越の出来事をまとめました。川越シャトル運行開始、老人福祉施設建設、公園の整備のほか、半透明ごみ袋の導入、紙ごみ収集などへの取り組みを紹介していきます。

広報川越 902

発行/平成9年1月10日(毎月10日・25日発行)

発行人/川越市長 舟橋功一

編集/川越市広報課 〒350 埼玉県川越市元町1-3-1 ☎0492-24-8811内線2132

印刷/尚新広社

広報川越は再生紙を使用しています